



令和3年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

## 第3回 専門医研修会

テーマ：顎機能障害の補綴治療

抄録集

日時：2022年1月23日（日）14：00～16：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1丁目 6-14

令和3年度  
公益社団法人 日本補綴歯科学会  
第3回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	4
3. 専門医研修会抄録	5

# 1. 専門医研修会参加の皆様へ

## 開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2022 年 1 月 23 日（日）14:00-16:00

オンデマンド 2022 年 1 月 25 日（火）～2 月 4 日（金）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

## 単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

### 【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

### 【日歯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに **日歯 IC カード番号（6 桁）** を記入して下さい。

### 【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，アンケートサイトのアドレスをご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

## 参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 研修会参加申込サイトにて、必要事項をご入力いただき、1) クレジット、2) コンビニ払い、3) ペイジーにより決済方法をお選びください。2), 3) の場合は参加登録日を含め5日以内(土日含む)に決済をしてください。
2. 決済完了後、1月19日(水)に入力されたメールアドレス宛に視聴登録用URLをお送りいたします。視聴登録用URLから「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。

【研修会参加申込サイト】

[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=2315055638855391&EventCode=P260065954](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=2315055638855391&EventCode=P260065954)

(業務委託先のイベントペイ(株式会社メタップスペイメント)のサイトに移動します)

## 参加・視聴方法

上記の2段階目の登録終了後にno-reply@zoom.usから届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URLをクリックしてください。

当日は30分前より入室可能です。

オンデマンド配信については、別途ご案内します。

## 参加する皆様へ

1. 参加(ライブ聴講)方法は下記の通りとなりますのでご熟読ください。
  - 1) 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、「送信をする」を押してください。ご氏名は必ず「漢字」にて、補綴歯科学会会員番号も必須でご入力ください。
  - 2) 運営事務局より1月19日(水)に入力されたメールアドレス宛に視聴登録用URLをお送りいたします。視聴登録用URLから「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレスをご入力ください。登録後、no-reply@zoom.usから参加用のメールが届きます。  
ブラウザ(ZOOM USからアクセスの場合)からのログイン情報(ID, PW)は1月19日(水)のURL案内時にお送りします。

3) 専門医研修会は終了しますと、全員強制退出となります。

## 2. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は 1 月 19 日に配信されるメール記載の ID、パスワードをご入力願います。

## 3. オンデマンド配信について

視聴期間：2022 年 1 月 25 日（火）～2 月 4 日（金）

視聴方法：視聴 URL は運営事務局より送信されます。1 月 24 日（月）に参加登録者に一斉メールにてお送りいたします。なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、受信トレイ以外もご確認頂きますようお願いいたします。

# 事務局・お問い合わせ

## 1 研修会について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL：03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.com

## 2 参加登録について

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1 丁目 6-14

TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285（平日 9：00～17：00，土，日，祝日休み）

年末年始休暇：12 月 29 日（水）～1 月 4 日（火）

E-mail：jps2021@shinsen-mc.co.jp

## 2. 専門医研修会タイムテーブル

14:00-14:50

【講演1】補綴歯科のエキスパートが診る顎関節症とブラキシズム

座長：築山 能大 先生（九州支部）

原 哲也 先生（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：山口 泰彦 先生（北海道支部）

14:50-15:40

【講演2】咬合違和感を発症させない補綴治療専門医としての基本的姿勢と咬合違和感発症に関連する最新の知見

座長：築山 能大 先生（九州支部）

原 哲也 先生（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：玉置 勝司 先生（西関東支部）

15:40-16:00

【質疑応答】

### 3. 専門医研修会抄録

## 専門医研修会 座長抄録

座長

築山 能大（九州支部）九州大学

原 哲也（修練医・認定医・専門医制度委員会）岡山大学

Chairpersons

**Yoshihiro Tsukiyama**

Section of Dental Education, Faculty of Dental Science, Kyushu University

**Tetsuya Hara**

Department of Occlusal and Oral Functional Rehabilitation, Okayama University

「ブラキシズム、顎機能障害」は補綴歯科専門医の治療対象とする難症例に含まれており、睡眠時歯科筋電図検査を実施し、症状に応じた口腔内装置（オクルーザルアプライアンスなど）を製作、装着することや、咬合記録採得時の下顎位（咬合挙上量、前後的な下顎位など）や口腔内装置の咬合接触状態（付与する咬合様式）などを診断できることも補綴歯科の専門性に含まれている。

顎機能障害に対する治療においては、医療面接、顎機能の検査に基づき、顎機能に影響する様々な因子を精査し、これらを可及的に取り除く必要がある。補綴歯科治療を行うにあたって、咬合の修正を必要とする症例では、最終補綴歯科治療に進むまでに複数回のプロビジョナルレストレーションを挟む必要があるかもしれない。その場合であっても、基本に立ち返って患者の咬合状態や顎機能の状態を評価し、適切な下顎位やアンテリアガイダンスを設定することが重要である。また、顎機能障害の発症や遷延化には心理社会的因子も関与することがわかっており、症例によっては他の関連領域の医療者との連携が必要である。

そこで今回の専門医研修会では、山口先生に顎関節症、強度のブラキシズム症例等を対象に、基本的な咬合および顎運動の検査に基づき、個々の患者の顎口腔系に調和した咬合を付与する方法について、また、玉置先生には咬合違和感症候群を含む難症例に対して、補綴歯科専門医が踏まえておくべき基本的な咬合論に加えて、患者とのコミュニケーションのとり方や他領域の専門医との連携の在り方などについて、わかりやすく解説していただく。

本研修会が補綴歯科専門医の治療対象とする難症例への取り組みの一助になれば幸いである。

トピックス

- 顎機能障害
- 補綴歯科治療
- 咬合と顎運動



## 築山 能大先生



1987年 九州大学歯学部 卒業  
1991年 九州大学歯学部附属病院第2補綴科 助手  
1995年 UCLA 歯学部 Diagnostic Sciences and Orofacial Pain 訪問研究員  
(～1997年3月)  
1999年 九州大学歯学部附属病院第2補綴科 講師  
2002年 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 准教授  
2017年 九州大学大学院歯学研究院歯科医学教育学分野 教授  
日本補綴歯科学会 専門医・指導医，修練医・認定医・専門医制度委員会委員  
日本顎関節学会 専門医・指導医，理事  
日本口腔顔面痛学会 専門医・指導医，評議員  
IADR: International Network for Orofacial Pain and Related Disorders  
Methodology, Councilor

## 原 哲也先生



1991年 岡山大学歯学部助手  
1997年 岡山大学歯学部附属病院講師  
2002年 岡山大学大学院医歯学総合研究科 助教授  
2005年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教授  
2007年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授

# 専門医研修会 講演1抄録

## 補綴歯科のエキスパートが診る顎関節症とブラキシズム

演 者

山口 泰彦（北海道・東北支部）

北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯補綴学教室

Treatment and management for temporomandibular disorders and bruxism by prosthodontic experts

**Taihiko Yamaguchi**

Department of Crown and Bridge Prosthodontics, Division of Oral Functional Science, Faculty of Dental Medicine, Hokkaido University

顎機能は、咬合、顎関節、筋肉、神経系が統合されたアウトカムであるため、その障害への対応には多面的な見方が必要であり、様々な専門領域からのアプローチを要する。補綴歯科的なアプローチも当然重要な役割を担うべきである。補綴歯科学会が提示している補綴歯科治療の症例難易度分類の難症例の病態の中には顎関節症やブラキシズムなどの顎機能障害が含まれている。このことから、補綴歯科の専門性において顎機能障害を理解し、適切に対応することは重要な要件であることがわかる。そこで、本講演では、補綴歯科で培われてきた顎運動機能や咬合に関する知識、技術が、顎関節症やブラキシズムの診断、治療において如何に有用であり、補綴歯科のエキスパートにはその活用がどのように求められているかについてお話しする。

顎関節症については、①顎運動・咬合の知識を顎関節症の鑑別診断や顎関節症の病態分類に活用する方法、②顎運動の知識を利用した急性クローズドロックのマニピュレーションや間欠性ロックへの対応法、③アプライアンス（スプリント）に補綴歯科の治療技術や咬合の観察スキルを生かす手法、④クローズドロックに継発する前歯部開咬の発現に対する補綴歯科対策、⑤顎関節症の発症や継続のリスクファクターとしての臼歯部低位咬合への配慮と対応法、などを解説する。また、ブラキシズムについては、①睡眠時ブラキシズムの標準治療としてのアプライアンス（スプリント）の要否の判断や使用時の留意点、②重度咬耗歯列を有した場合の補綴装置や咬合管理、③睡眠時歯科筋電図検査による個々の患者により適した治療・管理法の選択や治療効果の判定法、などを解説する。

本講演が、会員の皆様の顎機能障害に対する治療・管理のスキルアップに繋がれば幸いです。

トピックス

- 咬合・顎運動
- 顎関節症根面
- ブラキシズム

## 山口 泰彦先生



北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯補綴学教室

### 略歴

- 1987年 北海道大学大学院歯学研究科（歯科補綴学第二講座）修了，歯学博士
  - 1987年 北海道大学歯学部歯科補綴学第二講座 助手
  - 1989年 北海道大学歯学部附属病院顎関節治療部門 講師
  - 2001年 北海道大学歯学部附属病院（現北海道大学病院）顎関節治療部門 助教授（准教授）
  - 2007年 モントリオール大学客員教授
  - 2014年 北海道大学大学院歯学研究科（現歯学研究院）口腔機能学講座冠橋義歯補綴学教室 教授
  - 2016年 北海道大学病院 病院長補佐
- 日本補綴歯科学会 代議員，専門医，指導医  
日本顎関節学会 理事，専門医，指導医  
日本顎口腔機能学会 監事

## 専門医研修会 講演2抄録

### 咬合違和感を発症させない補綴治療専門医としての基本的姿勢と 咬合違和感発症に関連する最新の知見

演 者

玉置 勝司 (西関東支部)

神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野

Basic posture as a specialist in prosthetic treatment that does not cause occlusal discomfort and the latest knowledge on the onset of occlusal discomfort

**Katsushi Tamaki**

Department of functional recovery of TMJ and occlusion, Kanagawa Dental University, Yokosuka

日常の補綴歯科治療を行う中で、患者が咬合違和感を感じる可能性は高頻度に潜んでいる。補綴歯科治療の専門医としてその発症の要因は避けなければいけない。発症してしまった場合、本学会では咬合違和感症候群 (Occlusal discomfort syndrome: ODS) とし、広義と狭義に定義 (2013) している。我々はこれに該当する臨床例の発症契機やその病態について検討している。しかしながら、一旦発症するとその症状や病態を改善することに苦慮することが多い。そこで、今回は咬合違和感を発症させない専門医としての基本的な治療姿勢と咬合違和感症候群 (Occlusal discomfort syndrome: ODS) の理解を深めていただくためにその関連事項について解説する。

1. 治療的自我：患者 - 術者関係が「治療の道具」として患者に影響する。
2. 補綴治療術前の咬合検査：中心位と咬頭嵌合位時の顎頭位の評価（口腔内，咬合器上）は必須である。
3. 咬合違和感症候群 (ODS)：症型分類の診断能力と医療面接による修飾因子の抽出能力が必要である。
4. 患者解釈モデルから腑に落ちる理解へ：患者の主観と術者の客観の対立では患者は良くなる。腑に落ちる理解の提供とコンコダンス環境が必須である。
5. 咬合違和感の発症：脳の情報処理過程の変調による“Threat Matrix”と“The pain matrix reloaded”。
6. 心身相関のメカニズム：脳の中で心理や情動を処理する「心」の領域と「体」を調節する領域とをつなぐ「心身相関」の神経伝達路が発見された。

まとめ：補綴専門医は、口腔は脳と直結する感覚器官で、特に咬合治療においては本日の講演項目を常に認識して患者対応しなければいけない。それが国民に対する良質な補綴歯科治療の提供に繋がると確信している。

トピックス

- 治療的自我
- 咬合違和感症候群
- 心身相関

## 玉置 勝司先生



神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野

- 1982年 神奈川歯科大学歯学部卒業
- 1989年 神奈川歯科大学歯科補綴学教室第3講座 講師
- 2001年 神奈川歯科大学附属病院かみ合わせ 外来主任
- 2008年 神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座歯科補綴学分野 診療科教授同  
附属病院咬み合わせリエゾン診療科 教授
- 2012年 神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座有床義歯補綴学分野 教授
- 2017年 神奈川歯科大学大学院歯学研究科全身管理医歯学講座顎咬合機能回復補  
綴医学分野 教授
- 2020年 神奈川歯科大学大学院歯学研究科口腔統合医療学講座顎咬合機能回復補  
綴医学分野 教授
- 2021年 神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野 教授（～現在）

— 本誌を複製される方に —

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、(社)日本複製権センターと包括複製許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複製権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複製以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複製については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 978-750-8400 Fax : 978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

---

**日本補綴歯科学会 令和3年度第3回専門医研修会抄録集**

---

令和4年1月23日発行

発行者 馬場 一美

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090

---